

対談

# 道徳、教養を どう取り戻すか

日本人が変わってきた。古いも若きもかつてない揺れを見せ、毎日のように殺伐とした事件が起きている。その原因は家庭にあるのだろうか、あるいは社会にあるのだろうか。儒教をはじめとする中国哲学史の研究者としてだけでなく、いま問題になっている「人間関係」から「社会と人の心」などについて、するどい批判・提言をしている論客、加地伸行氏にお聞きした。

大阪大学名誉教授  
立命館大学教授  
文学博士

**加地伸行氏**

聞き手  
株式会社インテックホールディングス  
取締役会長

**中尾哲雄**

インテック大山研修センター  
にて(富山市)



### 加地伸行氏

(かぢ のぶゆき)

1936年大阪市生まれ。60年京都大学文学部卒。高野山大学助教授、名古屋大学助教授、大阪大学教授を歴任。現在、大阪大学名誉教授。立命館大学教授。文学博士。著書に『儒教とは何か』（中公新書）『孔子 時を越えて新しく』（集英社）『史記 司馬遷の世界』（講談社現代新書）『家族の思想』（PHP新書）ほか多数。

中尾 われわれの経済同友会では、伝えよう、親心、親として、企業人として」というテーマで、家庭教育の素

加地 いま、家族は団結せよ、それには親子の会話が大事だと教育学者や心理学者が声高に言っていますが、親子対話には、決められた神聖な空間や時が必要で。

昭和の初期には、茶の間の中心にちやぶ台があり、仏壇に「飯をさし

家庭でこそ、しっかり見守り直し、それを思い起こす日の制定は大賛成です。

中尾 われわれの経済同友会では、伝えよう、親心、親として、企業人として」というテーマで、家庭教育の素

9割の人のために、生きていくことが

### 家庭内で失われた聖なる空間と時間それが道徳教育だった

加地 いま、家族は団結せよ、それには親子の会話が大事だと教育学者や心理学者が声高に言っていますが、親子対話には、決められた神聖な空間や時が必要で。

昭和の初期には、茶の間の中心にちやぶ台があり、仏壇に「飯をさし

家庭でこそ、しっかり見守り直し、それを思い起こす日の制定は大賛成です。

長年、教育に携わり、研究者を育てる場合でも、その才能があるかないかは、7年8年もかかると初めてわかるというのが普通で、才能を見極めるのは難しいことです。

### 9割の人ができることをめざすそれが教育のありかた

中尾 学校教育では、相変わらず個性重視ですが、個性はわかったよう

※『子(し)曰(のたま)わく、之を道(みちび)くに政を以てし、之を齊(ととの)うるに刑を以てすれば、民(たみ)免(まぬが)れて恥(は)ずること無し。之を道くに徳を以てし、之を齊うるに礼を以てすれば、恥(は)ずる有りて且つ格(ただ)し。』『論語—為政第二』  
(孔子云う、「人民を統治するのに、政治権力を乱用したり、従わない場合には刑罰を以て脅したりすれば、人民は捕まらさず良しければ良しとして、自分の悪事を恥と思わないようになる。徳治を以て人民を導き、礼儀礼節を重んじて統治すれば、人民は自ずから是非善悪の判断がつくようになって、良心に恥じるようなことはなくなるものだ」と、

### 「先祖様が見ている」が日本人の抑止力だった

中尾 日本各地で毎日のように殺伐とした事件や犯罪がメディアに登場し、日本人の心が揺れているように感じますが。

加地 わが国は戦後、欧米にならぬ、法律や教育はもとより、あらゆる社会制度をつくる上で個人主義を第一に掲げてきました。

中尾 なるほど、そういうえば立山も山自体がご神体です。



加地 親殺し、子殺しなどという異様な事件が続発しています。すると「エンター」番組などでは、その原因をゆがんだ形の現代社会に結論付ける傾向がありますが、とんでもない見解です。人間が生きている限りは、犯罪の起こらない世界や時代はありません。だからこそ、人間は法律や道徳、教育を犯罪の歯止めにしてきたのです。なかでも、道徳教育の欠落が大きな原因と見えています。

個人主義が成り立つための基本原則は自律です。真の自律心をもって自立できると、自己責任を意識できるよつになるのですが、日本人には所詮身につかないのだと思つのです。

確かに個人主義などという言葉がなかった時代でさえ、自分を厳しく戒め、責任をもって凜として生きた立派な日本人がたくさんいました。それはなぜでしょう。

加地 いや、欧米の人たちも自分を律するのは大変なことなのです。ただ、彼らはキリスト教に代表される宗教を日常に取り入れ、全知全能の絶対神にすべてを委ねることで、法律より高い次元の抑止力としたのです。

悪いことをすると神が見ていると。中尾 抑止力のない個人主義の問題点はどこにあるのでしょうか。

加地 日本では、絶対神に代わる抑止力として、「祖先を敬う」ということがありました。

中尾 やはり道徳教育がなくなつたこともひとつの大きな原因でしょう。加地 国の中央教育審議会でも、法律さえ遵守すれば、道徳教育は必要なしと明言しているのですから何をかいわんやです。

加地 勝手気ままな利己主義者が、社会に出てくることになりました。今の日本は教育とは名ばかり、利己主義者を養成しているようなものです。古来日本は、欧米のような絶対神ではないものの、多神教で八百万やおよずす(の神をもち、われわれの心の中に生きていました)。

明治維新で欧米文化が入ってきたとき、自然科学分野は真似をして学びましたが、個人主義という異質なものをそのまま取り入れることはしなかつたのです。江戸時代の思想の骨格である「一族主義」、広い意味での「家族主義」を貫いたのです。感覚的に身につけていないものの真似はせず、にある一つの折衷案を作つたのです。

中尾 『論語』の「子曰、道之以政、齊之以刑、民免而無恥。道之以徳、齊之以礼、有恥且格」を思い起こします。法にひびかりさえしなければ、みづからなければ、何をしても許されると。悪い経営者も増えていますね。

加地 勝手気ままな利己主義者が、社会に出てくることになりました。今の日本は教育とは名ばかり、利己主義者を養成しているようなものです。古来日本は、欧米のような絶対神ではないものの、多神教で八百万やおよずす(の神をもち、われわれの心の中に生きていました)。

折衷案とはおもしろい。中尾 明治人の気骨の真骨頂ですね。加地 「一族主義」の実態は、世帯の集合だということに目を付けたので

中尾 『論語』の「子曰、道之以政、齊之以刑、民免而無恥。道之以徳、齊之以礼、有恥且格」を思い起こします。法にひびかりさえしなければ、みづからなければ、何をしても許されると。悪い経営者も増えていますね。

折衷案とはおもしろい。中尾 明治人の気骨の真骨頂ですね。加地 「一族主義」の実態は、世帯の集合だということに目を付けたので

折衷案とはおもしろい。中尾 明治人の気骨の真骨頂ですね。加地 「一族主義」の実態は、世帯の集合だということに目を付けたので

中尾 『論語』の「子曰、道之以政、齊之以刑、民免而無恥。道之以徳、齊之以礼、有恥且格」を思い起こします。法にひびかりさえしなければ、みづからなければ、何をしても許されると。悪い経営者も増えていますね。

折衷案とはおもしろい。中尾 明治人の気骨の真骨頂ですね。加地 「一族主義」の実態は、世帯の集合だということに目を付けたので

折衷案とはおもしろい。中尾 明治人の気骨の真骨頂ですね。加地 「一族主義」の実態は、世帯の集合だということに目を付けたので

中尾 『論語』の「子曰、道之以政、齊之以刑、民免而無恥。道之以徳、齊之以礼、有恥且格」を思い起こします。法にひびかりさえしなければ、みづからなければ、何をしても許されると。悪い経営者も増えていますね。

折衷案とはおもしろい。中尾 明治人の気骨の真骨頂ですね。加地 「一族主義」の実態は、世帯の集合だということに目を付けたので

折衷案とはおもしろい。中尾 明治人の気骨の真骨頂ですね。加地 「一族主義」の実態は、世帯の集合だということに目を付けたので



できるような身につけさせ、社会に送り出すことが教育です。

誰でもができることを学ぶことは型を教えるともいいます。最小限の型を教えて、しっかりと生きていく技術を身につけさせることが大事なのですよ。

中尾 型を教えるという点で、日本の古来からある伝統を引き継ぐ茶道、華道、武道を連想します。

加地 古典芸能や武道の世界にはこのような考え方が今でも息づいています。「この型教育をしないではきたのが今日の悲惨な現状のあらわれです。」

中尾 具体的にお聞かせください。加地 たえば、小学校の算数で学ぶ最終的な目的は、比率や割合を理解できることなのですが、卒業時3割の生徒は、それを理解していません。そのまま中学校に進むのです。小学校で型を教えない弊害はそのまま持ち越されて社会へ出る。

教育は最小限のことを教えればよい。「この端的なのが、読み・書き・そろばん」にあたります。

### 国語力と古典への理解力が教養の決め手に

中尾 国語力の低下も深刻ですね。加地 これも同様ですね。国語力と

は語学としての国語力と違い、国の人々の歴史や文化、伝統の中から生まれ、発展してきた総合的な「語」の力といえます。

たとえば仏という言葉は、外国人なら仏陀や釈迦の意味でとらえますが、日本人は「地獄で仏」とか「仏のような方」などいろいろ「ブ」で理解します。この力も低下していますね。

中尾 日本語と国語は違うんですね。国語力が落ちると、考える力も落ちるといっていいでしょうか。

加地 思考力と感ずる力との両方の低下が起きています。数学者の岡潔は「数学は情緒である」と言っています。すなわち「美しさを感じる心の動きがなければ数学もできない」といっています。ですから、英語を小学校で教える前に国語力の向上こそが優先されるべきでしょう。

国語力がないと、外国語の「リスニング」の会得はできないものです。また国語は全人的な教育であり、各教科の根本ですから、国語の教師には幅広い教養と熱意を求めたいものです。

中尾 国語力のあるなしは家庭環境の影響も大きいのではないのでしょうか。両親の影響は当然でしょうが、本のある家とない家では子供の思考

な人間しか作れなくなつたのです。

単に知識を得るために古典を読むのではなく、古典から知恵を求め姿勢が大切なのです。

中尾 文部科学省は「こどもは小学校から古典を」と言い出しましたが、加地 そうでなくても忙しい教員の仕組みから変えないことには、難しいのが現状でしょう。

実は、私自身の孫と試みていることがあります。会長の会社のIT技術の集結であるテレビ電話を使って、孫に漢文を素読させ、わかりやすく通釈したりしています。

ゲームソフトで道徳 古典を学ぶなどといったことも柔軟に取り入れてはいかがでしょうか。  
こんなドッキング方法ができると若い人たちにも古典が受け入れやすくなるのではないのでしょうか。  
中尾 新しいものとのドッキングで古いものを学ぶ面白いですね。

### 今こそ型を教える教育が必要 長期合宿で浸透させるのも方法

中尾 最近の子どもはひ弱な感じがし、精神力が失われていますが、そのあたりも課題でいしょうか。  
加地 そうです。壁にぶちあたったときには原則や基本に戻るべきです。

力に差が出てくるのでは。

加地 親が本を読まないで、子どもも読まないものです。ですから遠回りでも意識的に読書の習慣づけが重要でしょう。

中尾 少子化により大学にもやすやす入れる時代になりました。ならばまず、「読み・書き・そろばん」の型を最小限教えておくことが、自然の中での体験をという親や教師が出てきてもよさそうですが、型教育の実現にはどうしたらいいのでしょうか。

加地 確かにその通りです。倫理・道徳の原則からいいますと、「二つは時代が変わっても永遠に全世界的に変わらないもの、たとえば人には真心をもて接する」といふような道徳も一つは、その時代々々の社会制度

など社会的変化によつて変わる道徳があります。

この二つは普遍的に変わらぬもの、全人間の全歴史上、地球のあらゆるところで共通する、この道徳を教えるのが学校での道徳教育だと思つています。

中尾 それをどこに見出したら...。加地 それを縊ひもといってくれるのはやはり古典だろうと思つています。直接的に道徳教育と言わずとも、古典教育のなかに人類によつて普遍のものがあることを見出し、学ばせていくことではないかと思つています。

中尾 富山市が輩出した文化勲章受章者で山田孝雄（よしお）先生といつ方がおられます。尋常小学校から中退したにもかかわらず、独学



教室で騒いでいる子どもたちやいじめの問題でも、解決策には合宿を提案しています。小学校では4年生、中学と高校は1年生の4月いっぱい

をそれにあてています。  
都会の学校から過疎の廃校に寝袋を持参、屋根が壊れていけばテントでもいい、修理できるところは自分たちで挑戦させる。4〜5人のグループを班単位とし、教育実習生もそれに加わる。費用は意味のない修学旅行をやめた方がいいのです。自然の中でふれ合い、自活させるに限定します。

中尾 それは素晴らしいアイデアですね。

加地 「論語」。経営者がよるべき言葉を論語の中から教えて下さいませんか。  
加地 会長が先に言われた子曰、

道之以政、齊之以刑...。これは名言ですね。法よりも道徳を重んずべしといつことですか。なぜ道徳や倫理に欠ける経営者が増えているのか、これは周囲取り巻きも悪いんですね。盗言は孔（はなは）だ甘し、人を誤らす言葉ほど聞くと心地よく、裸の王様になつてしまつといつことですよ。

中尾 荀子の「我を非として当たる者は我が師なり」。欠点を指摘してくれる人が経営者によつて大切であり、それを嫌うなといつことですね。加地 そうです。それは余裕でもあります。中尾 先生、今日はありがとうございました。いつもいつも指導を賜り感謝しております。また近いつちに

お会いしたく存じます。お互い元気が元はりますよ。